

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

- 1 私たちは、子どもたちを守り、育てます。
- 2 私たちは、法令等を遵守します。
- 3 私たちは、絶対に不祥事を起こしません。
- 4 私たちは、地域や保護者に信頼される学校にします。

「強い意志」と「心のゆとり」から

不祥事根絶のための行動計画

チーム安浦で

不祥事は「しない・させない・許さない」

呉市立安浦小学校
作成責任者 校長 山崎義之

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
チーム安浦小としての組織的な不祥事防止体制の確立	○教職員間で情報の共有が必要がある。	○情報の共有を確実に行う。 ○問題が生じた時には、必ず複数対応、組織対応する。	○不祥事防止委員会等情報共有を図る時間を設定するなど、教職員間のコミュニケーションが円滑に行える職場環境を整える。 ○管理職または教職員同士の巡視(授業観察)を頻繁に行い、不祥事に関わる課題の早期発見に努め、管理職へ報告をする。	○不祥事防止委員会等情報共有を図る場を設定する。 ○毎日、管理職による校内巡視(授業観察)を行い学校の状況を確認する。
教職員の規範意識の向上	○サービス研修の更なる充実を図る必要がある。 ○個人情報に対する危機管理意識に課題がある。	○サービス研修は、当事者意識を持って考え、自己を振り返る機会とし、教職員の規範意識を向上させる。 ○机上の整理整頓や学期に1回研修を行うことにより、紛失や漏洩を防止する。	○一人一回はサービス研修を担当し、問題解決的な事例研修やロールプレイの研修などの参画型研修、専門的な分野からの講師を招いての研修等内容を工夫する。 ○サービス研修の終末には、チェックリストや振り返り表で必ず振り返りを行い交流する。 ○個人情報漏洩・紛失防止の研修を学期に1回は行い、自己を振り返り、個人情報の管理意識を高める。 ○個人情報管理運営規程の徹底を図るとともに日々机上整理に努め、特に週末には整理整頓して退校する。	○毎月の不祥事防止委員会で研修内容を確認する。 ○毎月研修を実施し、ファイリングする。 ○研修後にチェックシートで振り返る。 ○持ち出し簿の点検と机上の確認をする。
相談体制の充実	○「相談窓口」は周知されているが、利用度が低い。	○「相談窓口」の周知を繰り返し行うとともに、参加を呼びかける。 ○児童や教職員や保護者が相談しやすい体制を作る。	○学校通信やHPで保護者等に周知し参加を呼びかけるとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 ○児童と担任、保護者と担任、教職員と管理職との面談を年2回以上行う。	○児童、保護者にアンケート調査を年2回以上実施する。 ○面談を確実に実施し、確認する。